◉23年度教育行政方針

奥州を担う人づくり

千葉啓一教育委員長が2月25日開会の平成23年第1回奥州市議会定例会で述べた教育行政方針の要旨を紹介します。

問 市教育委員会事務局教育総務課（江刺総合支所内線411）

奥州を担う人づくりを進める学校教育の充実

市の教育行政が果たすべき役割は「新しい奥州を担う人づくり」です。その「人づくり」の道筋を示す市教育振興基本計画に基づき、着実に歩みを進めていきます。

学校教育の充実のため、幼稚園と家庭が担うべき役割を共有する取り組みを進めます。また、幼稚園と小学校の連携を強化するため、幼保合同教育研修会を開催。子どもの学ぶ力に着目した授業の改善と、教員の指導力の向上を目指す「学びの共同体」事業を推進します。目標達成型の取組みや、学校評価の実施と活用、学校評議委員会の充実により、学校・家庭・地域が協働する学校教育を推めます。

前沢区の小学校統合は、5つの検討委員会を設置し、準備を進めます。胆沢区内中学校の教育環境については、保護者、地区民と協議を重ね、その将来展望づくりに努めます。

教育振興運動、学校支援地域本部事業、放課後子ども教室などを進め、新たに福祉部門と合同で、放課後子どもプランに関する相談窓口を設置し、地域との連携体制を強化します。

特に、教育振興運動では、新たに「市教育振興連絡協議会（仮称）」を設置し、各区の組織の交流や活動の啓発、指導者育成に努めます。

社会教育の充実とスポーツの振興

「協働のまちづくり」では、市長部局と一体となって、きめ細やかな支援体制を構築します。地区振興会が取り組むコミュニティー活動や生涯学習活動を通して、地域活動の原動力となる人材育成に特に尽力します。

また、歴史遺産を小中学校教育に組み入れるため、文化財資料の貸し出しや学芸員の派遣を実施します。先人顕彰として、後藤寿庵福原就封400年記念事業を支援します。

国史跡指定90周年を迎える胆沢城跡の整備は、本市の平泉関連遺跡と連動した活用を考えて行います。

スポーツ振興では、各種団体との連携・協力を一層強め、スポーツリーダーバンクの活用を促進し、地域の主体的な活動を力強く支えます。8月に本市で開催される、全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技の成功に向け、万全を期します。

本市スポーツ振興基本計画の目標である「成人の週1回以上のスポーツ実施率50％以上」の達成に向け、各種事業を通じて市民の参加意識高揚を図ります。

チャレンジデーで、楽しくボール送り（衣里小学校）

安全・安心な教育環境の実現

学校施設の耐震補強工事を実施するとともに、今後の耐震補強計画を策定します。昨年は小学校大規模改造事業で、シックスクール症候群などの健康被害がありました。二度と引き起こさないよう、市シックスクール対策マニュアルに基づき、安全・安心な教育環境の整備に努めます。

部門別重点事項

1 たくましく生きる力をはぐくむ学校教育の充実
- ■就学前教育の充実
- ■確かな学力を保障する教育の充実
- ■学校・教育関連施設などの再編

2 生涯にわたって、いつでもどこでも学びのできる学習環境の充実
- ■生涯学習環境の充実
- ■社会教育の充実
- ■芸術・文化の推進と充実
- ■読書活動の推進と充実

3 豊かな歴史・文化の継承と創造
- ■次代につなぐ重点プロジェクトの推進
- ■文化財の保存・活用

4 潤い豊かなスポーツ・レクリエーションの振興
- ■生涯スポーツ推進体制の充実
- ■スポーツ活動の推進
- ■スポーツ施設の整備

5 学びを支える安全・安心な教育環境の実現と市民への情報提供の推進
- ■安全・安心な教育環境の実現
- ■学校法人への支援と教育機会の均等の確保
- ■きめ細かな情報提供の推進

シックスクール症候群調査委員会報告

3月28日、市長応接室において市シックスクール症候群調査委員会（星俊也委員長）の調査結果が市長に報告されました。

委員会は、昨年11月から本年2月にかけて開催。原因の究明と対応策の検討を行いました。今後の未然防止のために市教育委員会が策定する「学校等シックスクール対策マニュアル」への、専門的知見に基づいた提言も行われました。その内容は次のとおりです。

【原因究明と対応策の検討】

①教室での暖房器具の使用により、揮発成分の濃度が高まったこと②教室に換気扇が未設置だったこと③建具の機密が悪く、児童発症後に設置した換気扇の効果薄かったこと④建材や塗料、接着剤の品質認定（F☆☆☆☆）を過信したこと⑤換気扇の能力測定が遅く、対応が遅れたこと⑥児童の歩く場所を区画に入らないようにする配慮が足りなかったこと⑦シックスクール症候群への理解が足りなかったこと

【シックスクール対策マニュアルへの提言】

①品質認定を過信しないこと②測定は室温を直近の教室使用時を想定して行うこと③備品購入時にも測定を行うこと

このほかに、発症した場合の対応として、発症した児童がいる教室の使用停止や、換気扇の能力測定の実施、安全な避難場所の確保などが提言されました。

小沢市長に報告書を手渡す星委員長

おめでとう市内の3人が満百歳

市は、3月に満百歳を迎えた3人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

小河原熈さん＝水沢区姉体町字阿久戸＝は、江刺区愛宕に生まれ、33歳で故・テルノさんと結婚。2男1女をもうけ、孫6人、ひ孫6人に恵まれました。夫婦で農業を営み、奥さんがリヤカーで売り歩く野菜は、町で人気がありました。温和で真面目な性格で、新聞を読むのが日課。今でもたまに晩酌をします。お祝いのケーキを見て「ハッピーバースデーか」とほほ笑んでいました。

3月1日、家族とケーキでお祝いする熈さん

門脇チヤさん＝江刺区愛宕字下川原＝は、金ケ崎町に生まれ、故・健二さんと結婚。1男4女をもうけ、孫9人、ひ孫13人に恵まれました。若いころから入退院を繰り返したチヤさん。しかし、出征した健二さんが硫黄島から戻るまで、女手一つで子どもを育てました。花が好きで生け花の師範の資格を持っています。常に前向きで家族が面会に行くと励ましてくれるそうです。お祝いの花を抱き「ありがとう」と感謝していました。

3月5日、大好きな家族とチヤさん

小野寺安二さん＝胆沢区小山字下大谷地＝は、27歳で故・ハルエさんと結婚。3男1女をもうけ、孫6人、ひ孫6人に恵まれました。自宅に店舗を構え、雑貨や魚などを販売したほか、農業で生計を立てていました。穏やかな人柄で、一人でコツコツと取り組む働き者という安二さん。3食きちんと食べ、酒やたばこをのまず、くよくよしないことが長寿の秘訣といいます。

3月25日、笑顔でお祝いを受け取る安二さん